

## 令和 8 年度 第 1 回 学校評価会議

日時：令和 8 年 4 月 23 日（木） 14：00～15：00

場所：神戸看護専門学校 第一会議室（8 階）

司会：中野

書記：迫田

参加者：神戸市民間病院協会 ：会長 1 名 副会長 2 名

学校：学校長・事務部長・教務主任

### 議題

#### 1. 令和 7 年度学校評価結果

令和 7 年度「学校自己点検評価結果」（別紙参照）について学校長より説明

- ・ 9 領域、50 評価項目の平均評点は 2.78 点（昨年 2.8）と昨年とほぼ同様の結果であった。教育課程・教育活動に関する事項、入学・学生確保に関する事項と卒業・就職・進学に関する事項の評点が昨年度と比べわずかではあるが評点が下がった。要因として、国家試験の合格率の低下、それに伴う就職者の減、受験生の減少が考えられる。
- ・ 地域貢献・国際交流に関する事項の評点が少し高くなっているのは、あじさい祭で地域の方との交流が図れた点での評価だと考える。今年度さらに地域の方に参加してもらえるよう早い時期から周知を図っていく。
- ・ 学生への支援として、意見箱や学年担当教員による対応、外部の相談員による相談体制をとるなど支援を行った。外部の相談員にも延べ 20 件の相談があり活用できていた。

#### 2. 学校からの報告内容

##### ① 看護師国家試験対策について

2 年生：4 月 7 日、 3 年生：4 月 10 日より国家試験対策を開始し以後も対策講義等を実施。計画的に業者による講義や過去問による練習と実施していったが、国家試験対策期間である 12 月～2 月の自由登校期間中、学内登校を呼びかけ国家試験対策を実施していたが登校しない学生がいた。自宅で学習ができる学生はよいが一人で学習するのが困難な学生に対しては、登校し学内で学習ができるよう徹底指導を行っていく必要があったと考えている。次年度は学内登校するように、国家試験対策内容をさらに充実させて学内での学習を継続できるよう支援していく。

② 受験生確保について

学校見学会参加者の約 26%が受験。学校見学やオープンキャンパスへの参加者を受験につなげられるよう学校の特徴・魅力をアピールしていく。

受験回数を4回、受験要件に会員民間病院での就業経験者の枠、会員病院からの推薦枠を導入し受験生の門戸拡大を図ることで受験生確保につなげていきたい。

③ 就職状況について

民間病院への就職を推奨しているが、公立の病院及び県外を希望する学生に対して今まで同様に、本校の設立趣旨を説明し県内の民間病院協会会員病院への就職を勧めていく。

\* 国家試験合格率を上げることで受験生の確保や就職率UPにもつながるため合格率UPに向け取り組んでいくことが必須である。

3. 学校関係者からの意見・総合的評価

①国家試験の合格率について

国家試験対策の内容を充実させ、次年度は合格率が上がるように取り組んでいくこと。

今回不合格となった卒業生へのフォローを十分に行い次年度合格するよう支援を継続していくように取り組んでほしい。

②受験生確保に関して

- ・ 受験の回数や応募要件の追加など見直した結果で受験生の門戸が拡大され受験生確保に繋がるとよい。
- ・ 18 歳人口の減少に伴い今後も受験生の減少は避けられない状況である。医療現場に外国人が入ってきているように看護学校も外国の人たちを受け入れざるを得ないようになるのではないかと。現時点で外国人の受け入れは難しい状況にあるかもしれないが今後検討していく必要があるのではないかと。

③民間病院への就職に関して

- ・ 国公立の病院への就職希望者に対し、教員たちが教育理念に基づき学生に説明し努力しているようであるが、毎年若干名であるが就職している。今年は国公立への就職者はいないようであったが次年度も希望者が出るであろう。民間病院は個人に合わせ手厚く面倒を見るという良い面もあるので、そのことも伝えながら今後も卒業生が民間の会員病院に多く就職するよう働きかけを続けていく必要がある。